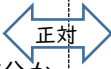


【特設授業】世界とつながる山田グスク 授業者:崎原(恩納村博物館) 山田(沖縄県教育庁文化財課)

1 本時のねらい			
<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な文化財(山田グスク・歴代宝案等)を通じて地域の歴史を考える</li> <li>山田地域の歴史を世界とのつながりから学ぶ</li> </ul>	(評価場面方法)	文化財などの歴史資料から地域と世界のつながりを学び取れたか	
2 めあて、まとめ、振り返り			
(まとめ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>山田グスクは地域の歴史を物語る大事な文化財</li> <li>出土物や歴史資料から地域や世界とのつながりが分かる</li> </ul>		(めあて)
		① 地元の文化財から地域の歴史を紐解くことができることを知る	② 地域の歴史が世界とつながっていることを知る
(振り返り)			
3 本時の展開(90分) *往復の移動(30分)			
	学習活動・内容・発問	予想される反応	評価方法
移動 15分	<ul style="list-style-type: none"> <li>山田小学校からバスに乗りし恩納村博物館へ移動</li> <li>博物館研修室へ移動・着席</li> </ul>		
展開 10分	<p>1 特設授業の授業者の紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の歴史を紹介する博物館(崎原)</li> <li>沖縄の歴史を編纂する文化財課(山田)</li> </ul> <p>発問:地域の歴史はどうやって調べる?</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>→文化財・歴史資料から紐解く</li> </ul> <p>2 考える枠組みを提示</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>山田グスクの概要について紹介</li> <li>→発問:どんなところ(イメージ)</li> <li>→発掘等の成果を紹介/今とのギャップ</li> <li>→歴史を調べる調査が行われている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域の歴史を調べる→本で調べる、大人に聞く</li> <li>○本や大人はどうやって歴史を調べる?</li> <li>→文化財・歴史資料から紐解く</li> <li>○地元にある山田グスクを知らない/行ったことない/ただの山</li> <li>→グスクには地域の歴史が詰まっている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に自分事として発問に答えているか</li> </ul>
展開① 25分	<p>1 出土物(白磁・青磁)を観察する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2チームにわけ、それぞれ観察</li> <li>出土物を触る(→陶磁器)/見る(→模様・形状)/比べる(→違い)から発見する</li> </ul> <p>作業:気付いたことをワークシートにメモ</p> <p>2 出土物(白磁・青磁)の違いから分かることを紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>触る/見る/比べるを通じて分かることを紹介→気付いていたか挙手などで確認</li> <li>中国で作られた陶磁器であること、形状などから用途・産地・時期などが調査によって分かることを提示</li> <li>出土物(貝、獣骨など)から見るひとびとのくらし(食事など)を紹介</li> <li>例、発問:昔の献立を考えてみよう?</li> </ul> <p>3 出土物(刀)を考える</p> <p>発問:これ(出土物)は何だろうか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>刀であることを紹介→復元模造を紹介</li> <li>沖縄では金属が採れないことを紹介</li> <li>日本からの輸入品(武器)</li> <li>→中国や日本など外の世界からやってきた多くのモノが見られる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○今と昔の器を比較する陶磁器は、</li> <li>・(触れると)ツルツルしている</li> <li>・模様・形状に違いがある</li> <li>・青磁と白磁を比べて似ている部分(ツルツル)と色や形の違い</li> <li>→違いを認識することが重要</li> <li>○自らが発見していた「違い」にさまざまな意味がある</li> <li>○考察→裏付け/他者の発見の共有</li> <li>○深い皿・碗などが多い</li> <li>→煮炊き(料理)していた</li> <li>→ごはんや汁物をよそう</li> <li>*当時の食料は今とどう違うか</li> <li>○錆びていることから金属</li> <li>○グスクにあったので棒状のもの</li> <li>→武器</li> <li>○戦う場面が存在した</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出土物の「違い」を発見しているか</li> <li>・「違い」を解説を通じて当時を考える「情報」に捉え直しているか</li> <li>・他者が発見した「違い」を共有できているか</li> <li>・出土物から情報や考察を引き出せているか</li> <li>・出土物から情報や考察を引き出せているか</li> <li>・地域と世界のつながりを理解できているか</li> </ul>

<p>展開② 20分</p>	<p>1 当時の人びとが書いた文書(古文書) ・歴史を調べる手段に文書(古文書)があることを紹介→『歴代宝案』 ・『歴代宝案の栞』を用いて外国に出された文書であることを紹介</p> <p>2 文書から当時のモノの移動を知る ・護佐丸が生きていた時代の文書(栞 8p) ・琉球の王様からタイの王様へ ・地図を示して文書(にある贈り物のリスト)を紹介 ・さまざまな地域(世界)と交流しながら商品を手に入れ交易を行う琉球(の王様) <b>発問</b>:王様の贈り物のリストと山田グスクの出土物を比べてみよう →数人を指名して確認 <b>発問</b>:なぜ山田グスクから同じようなものが出土するのだろうか →いろいろな状況が考えられ、さまざまな意見可(挙手または複数名指名も可) ➡現在(調査・研究を通じて)歴史を「発見」していく作業の途中(仮説を提示:貿易品は一方で沖縄(恩納)の人びとのくらしにおいても使われるようになっていいる=普及、世界とつながる山田グスク)</p>	<p>○山田グスクが利用されていた時代の文書が残っている</p> <p>○文書から情報を読み取る</p> <p>○海外と深くつながった貿易を沖縄(琉球)は行っていた</p> <p>○青磁や刀がリストにもある(⇒ないものもある) ○青磁には種類があり、数の多い碗が山田グスクでも出土</p> <p>○山田グスクでは貿易品であった物を使用している ○山田グスクも貿易の拠点(貿易の主体は琉球の王様でありその枠組みの中にある点は注意)</p>	<p>・歴史資料としての文書(『歴代宝案』)が残っていることを理解できているか</p> <p>・文書の紹介から当時の交流・貿易に海外の産品が多くもちいられていたことを理解できたか</p> <p>・出土物の情報とリストを対照させることができたか</p> <p>・出土物と歴代宝案にあるリストの関係を考え、主体的に両者の間にある未整理の関係を推測できたか</p>
<p>まとめ 5分</p>	<p>・質疑応答又は事前の予想(発問:山田グスクのイメージ)を踏まえ、新しく分かったこと、学んだことをまとめよう ・ワークシート記入 *新たな疑問も可(考察→疑問の発見を促す、疑問の回収は以後の授業などで活用)</p>	<p>○歴史を調べるのに文化財や資料(出土物など)が大事 ○山田グスクは大事な文化財 ○山田グスク=山田の地域は世界とつながっていた</p>	<p>・自分の考えをまとめることができたか ・当初の予想を授業を通じて塗り替えることができたか</p>
<p>移動 15分</p>	<p>・博物館からバスに乗りし小学校へ移動</p>		
<p>4 使用教材</p>			
<p>1 山田グスク出土の青磁・白磁、刀(恩納村教育委員会) 2 <a href="#">歴代宝案の栞</a>(沖縄県教育委員会発行)</p>			